

必修講習会 第一～四期末修了者のための読替表

※各期で未受講になっているコマについては、対応する第五期の枠とコマに当てはまる科目を受講してください。

グレイ：第一～四期と第五期で受講の順番が変わります

黄色：未受講の部分は追加受講必須

色がついていないコマは第一～五期まで受講順に変化はありません

種別	一期・二期				三期・四期				五期				読替時注意事項
	枠	コマ	タイトル	五期該当 枠・コマ	枠	コマ	タイトル	五期該当 枠・コマ	枠	コマ	タイトル		
MT概論	①	1	MTの実践		①	1	イントロダクション	①-1	①	1	イントロダクション		
		2	MTの理論とアプローチ			2	MTの実際	①-2		2	MTの実際		
		3	発達障がい児・者のMT1			3	音と聴覚・音と脳	①-3		3	音と聴覚・音と脳		
		4	発達障がい児・者のMT2			4	人間と音楽	①-4		4	人間と音楽		
	②	5	音楽の起源と近代までのMTの歴史		②	5	MTの歴史	③-5	③	5	MTの歴史		
		6	MTの歴史 続き			6	MTの対象者	③-6		6	MTの対象者		
		7	高齢者1			7	MTの実際	③-7		7	MTの実際		
		8	高齢者2・緩和ケア			8	障がい児・者	③-8		8	障がい児・者		
	④ ⑤	9	音と聴覚・音と脳		④	(10) 9	高齢者・その他	④-9	④	9	高齢者・その他		
		10	人間と音楽			(11) 10	MTと社会システム	④-10		10	MTと社会システム		
		11	精神科領域1			(9) 11	MTの理論とアプローチ	④-11		11	MTの理論とアプローチ1		
		12	精神科領域2			12	倫理・スーパービジョン	④-13		12	MTの理論とアプローチ2		
	※1期・2期列内の () は2期末修了者のコマ番号。				※3期・4期列内の () は3期末修了者のコマ番号。								
※総括及びテストは必須です。 一・二期でMT概論受講希望の方は個別に、 2018年8月31日(金)までに事務局にお問い合わせください。				13 総括 追加受講 ※総括の受講及びテストを受ける必要があります。				④-14 ④ 14 総括					
MT各論	発達障がい児・者				障がい児・者				障がい児・者				各論については未受講になっている講義を第五期でそのまま受講してください。
	③	1	発達障がい児・者のMTの目的1	⑧-1	③	1	障がい児・者のMTの目的1	⑧-1	⑧	1	障がい児・者のMTの目的1		
		2	発達障がい児・者のMTの目的2	⑧-2		2	障がい児・者のMTの目的2	⑧-2		2	障がい児・者のMTの目的2		
		3	発達障がい児・者のMTの理論・アプローチ	⑧-3		3	障がい児・者のMTの実際	⑧-3		3	障がい児・者のMTの実際		
		4	感覚機能系障がい児・者のMT	⑮-4		4	感覚機能系障がい児・者のMT	⑮-4		4	感覚機能系障がい児・者のMT		
	⑧	5	運動機能系障がい児・者のMT	⑮-5	⑤ ⑧	5	運動機能系障がい児・者のMT	⑮-5	⑮	5	運動機能系障がい児・者のMT		
	高齢者				高齢者				高齢者				
	⑥	1	対象者理解と高齢者MTの実際1	⑬-1	⑦ ⑥	1	対象者理解と高齢者MTの実際1	⑬-1	⑬	1	対象者理解と高齢者MTの実際1		
		2	高齢者MTの流れと実際2	⑬-2		2	高齢者MTの実際2	⑬-2		2	高齢者MTの実際2		
		3	高齢者MTの実際3(歌唱中心)	⑬-3		3	高齢者MTの実際3	⑬-3		3	高齢者MTの実際3		
		4	高齢者MTの実際4(身体運動・楽器活動中心)	⑬-4		4	高齢者MTの実際4	⑬-4		4	高齢者MTの実際4		
		⑨	5	高齢者MTの実際5およびまとめ		⑬-5	⑨	5		高齢者MTの実際5およびまとめ	⑬-5	⑬	5
	リハビリテーション				リハビリテーション				リハビリテーション				
	⑩	1	リハビリテーションとMT1	⑬-1	⑩ ⑩	1	リハビリテーションとMT1	⑬-1	⑬	1	リハビリテーションとMT1		
		2	リハビリテーションとMT2	⑬-2		2	リハビリテーションとMT2	⑬-2		2	リハビリテーションとMT2		
	精神科領域				精神科領域				精神科領域				
	⑱	1	精神科の対象と治療	⑳-1	⑱ ⑱	1	精神障がいの理解	⑳-1	⑳	1	精神障がいの理解		
		2	精神科のMTの目的・構造・方法	⑳-2		2	精神科のMTの目的・構造・方法	⑳-2		2	精神科のMTの目的・構造・方法		
		3	各疾患とMTの適応	⑳-3		3	精神科領域のMTの実際1	⑳-3		3	精神科領域のMTの実際1		
		4	精神科のMTの実際と評価	⑳-4		4	精神科領域のMTの実際2	⑳-4		4	精神科領域のMTの実際2		
5		まとめ	⑳-5	5		精神科領域のMTの実際3	⑳-5	5		精神科領域のMTの実際3			
ホスピス緩和ケア				緩和ケア・その他				緩和ケア・その他					
⑳	1	日本における歴史と現状	㉑-1	⑳ ⑳	1	緩和ケア・その他のMT1	㉑-1	㉑	1	緩和ケア・その他のMT1			
	2	チームケアとMTの専門性	㉑-2		2	緩和ケア・その他のMT2	㉑-2		2	緩和ケア・その他のMT2			
	3	ロールプレイ、現場の現状、課題とまとめ	㉑-3		3	緩和ケア・その他のMT3	㉑-3		3	緩和ケア・その他のMT3			

		一期・二期				三期・四期				五期			
種別	枠	コマ	タイトル	五期該当 枠・コマ	枠	コマ	タイトル	五期該当 枠・コマ	枠	コマ	タイトル	読替時注意事項	
MT研究→3期より「事例の書き方・研究」	(4)	1	研究とは何か	⑥-1	(5)	1	事例とは	⑥-1	(6)	1	研究とは	レポート1と2を提出し、各々講師から指導を受け、まとめ1と2とテストを受けることが必須。	
		2	量的研究と質的研究	⑥-2		2	観察と記録1	⑥-3		2	事例報告とは		
		3	MTの研究論文を読む1	⑩-5		3	観察と記録2	⑩-4		3	観察と記録1		
		4	MTの研究論文を読む2	⑩-6		4	MTの事例研究論文	⑥-2		4	観察と記録2		
		5	観察と質的データ	⑩-3		5	事例の書き方の例1	⑩-5		5	事例の書き方の例1		
		6	量的データ	⑩-4		6	事例の書き方の例2	⑩-6		6	事例の書き方の例2		
		7	一事例研究と結果の表し方	⑫-11		7	MTの研究1	⑩-7		7	MTの研究1		
		8	事例研究におけるデータ検討	⑩-7		8	MTの研究2	⑩-8		8	MTの研究2		
		9	データの性質	⑩-8		9	事例研究のデータと統計1	⑩-9		9	事例研究のデータと統計1		
		10	記述統計	⑩-9		10	事例研究のデータと統計2	⑩-10		10	事例研究のデータと統計2		
		11	ノンパラメトリック検定	⑩-10		11	MTの論文	⑩-11		11	MTの論文		
		12	パラメトリック検定	⑩-10		12	事例の書き方1 ※三・四期で事例の書き方1を受講済みの方は、五期にて事例の書き方2を受講せずに事例の書き方3・4に進めます。	⑩-12		12	事例の書き方1		
		13	事例研究の書き方	⑩-12		13	事例の書き方2	⑩-13		13	事例の書き方2		
		14	抄録の記入	⑩-13		14	事例の書き方3	⑩-14		14	事例の書き方3		
		15	抄録のチェック	⑩-14		15	まとめ1	⑩-15		15	事例の書き方4		
		16	抄録の再修正	⑩-15		16	まとめ2およびテスト	⑩-16		16	まとめ1		
		17	まとめ2およびテスト 追加受講	⑩-16,17		17	事例の書き方4 追加受講	⑩-17		17	まとめ2およびテスト		
MT技法A (非音楽系)	(7)	1	イントロダクション	②-1	(8)	1	イントロダクション	②-1	(9)	1	イントロダクション	*合奏2は新設講義ですが、第一～四期にて「手遊び歌」が受講済みなら新たな受講は不要。	
		2	伴奏1	⑦-3		2	伴奏1	⑦-3		2	楽器紹介		
		3	伴奏2	⑦-4		3	伴奏2	⑦-4		3	伴奏1		
		4	楽器紹介	⑤-2		4	楽器紹介	⑤-2		4	伴奏2		
		5	即興1/テスト	⑩-17		5	即興1/テスト	⑩-17		5	諸技術		
	(12)	6	諸技術	⑨-5	6	諸技術	⑨-5	6	音の使い方1				
		7	伴奏3：#bなしの曲	⑩-8	7	伴奏3	⑩-8	7	音の使い方2				
		8	伴奏4：#bなしの曲	⑩-9	8	伴奏4	⑩-9	8	伴奏3				
		9	携帯楽器伴奏	⑫-12	9	携帯楽器伴奏	⑫-12	9	伴奏4				
		10	合奏・テスト	⑩-10	10	合奏	⑩-10	10	合奏1				
	(15)	11	手遊び歌	⑩-11	11	手遊び歌	⑩-11	11	合奏2*				
		12	伴奏5	⑫-13	12	伴奏5	⑫-13	12	携帯伴奏楽器				
		13	伴奏6	⑫-14	13	伴奏6	⑫-14	13	伴奏5				
		14	音の使い方1	⑫-6	14	音の使い方1	⑫-6	14	伴奏6				
		15	音の使い方2/テスト	⑫-7	15	音の使い方2	⑫-7	15	伴奏7				
	(17)	16	伴奏7	⑫-15	16	伴奏7	⑫-15	16	伴奏8				
		17	伴奏8	⑫-16	17	伴奏8	⑫-16	17	即興1				
		18	即興2	⑫-18	18	即興2	⑫-18	18	即興2				
		19	その他の技法	⑫-19	19	その他の技法	⑫-19	19	実技試験				
		20	まとめ/テスト	⑫-20	20	まとめ/テスト	⑫-20	20	まとめ/筆記試験				
MT技法B (非音楽系)	(13)	1	導入、オリエンテーション		(13)	1	オリエンテーション、身体を用いたワーク1		(16)	1	身体ワーク、他者関係	2コマ削減。 技法Bを全く受けていない場合は10コマでよいが、既に一部受講済みであれば合計で12コマ必要。	
		2	非言語的交流の体験と理解1			2	身体を用いたワーク2			2	表現、(グループワーク)		
		3	非言語的交流の体験と理解2	⑩-1		3	言葉を用いたワーク1	⑩-1					
		4	非言語的交流の体験と理解3	⑩-2		4	言葉を用いたワーク2	⑩-2					
	(18)	5	身体表現	⑫-3	(18)	5	声と他者との関係性と自己への気づき	⑫-3	(24)	3	身体ワーク	既に受講した際と同じ講師になる可能性があります。	
		6	声と身体の方向性1	⑫-4		6	身体を通した気づき	⑫-4		4	他者関係		
		7	声と身体の方向性2	⑫-5		7	声の方向性	⑫-5		5	表現		
		8	声と身体の方向性3	⑫-6		8	息を合わせること	⑫-6		6	グループワーク		
	(22)	9	事例と討議	⑫-7	(22)	9	身体ワーク	⑫-7	(27)	7	身体ワーク	第五期の技法Bの内容は、タイトルが同じでも内容は講師によって異なります。	
		10	自己洞察と言語による表現1	⑫-8		10	声のワーク	⑫-8		8	他者関係		
		11	事項洞察と言語による表現2	⑫-9		11	声の生理学	⑫-9		9	表現		
		12	まとめ	⑫-10		12	グループワーク	⑫-10		10	グループワーク		
MT演習										(30)	1	MT演習1	演習1～9は5期受講生のみが受講できます。
											2	MT演習2	
											3	MT演習3	
											4	MT演習4	
											5	MT演習5	
											6	MT演習6	
											7	MT演習7	
											8	MT演習8	
											9	MT演習9	